

祭りやイベントを通して、 地域の良好な人間関係づくりを 推進します



入間川七夕まつりは、毎年8月6・7日の2日間で40万人もの人出があり、狭山市のメインイベントです。6日の20時からは、1千発の納涼花火大会が開催されます。

また、なんとといっても狭山市のメインイベントといえば、毎年8月の6・7日に開催される入間川七夕まつりですね。このお祭りは関東の3大七夕祭りに数えられ、江戸時代中期からの伝統を持ち、始まりは、入間川の商人が、買い物をするお客さんのために青竹に和紙で作った「懸け」を飾り、夏の暑さを和らげようとした粋な計らいだったようです。私も小さいころから七夕まつりは大好きでした。でも最近、七夕の



大相撲狭山場所 8月4日(水) 8時~15時 有料
問い合わせ狭山市観光協会へ ☎953 - 1205

REPORTER'S EYE



【リポーター】
牛窪明美さん(水野在住)

リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることから、市内のいろいろな施設などを、市民のかたがりポートします。

観光地とは一味違った
観光協会をめざします

皆さん、今年のゴールデンウィークには、旅行に出掛けられましたか。どこの観光地もたいへんなにぎわいでしたね。そんな観光地で必ず目にするのが「観光協会」。今回は、狭山市の観光協会事務局の野村事務局長にお話を伺いました。

狭山市観光協会は平成3年5月に市役所の商工課に事務局が設置され、狭山市の観光事業と産業経済の振興を図り、郷土文化の向上に貢献することを目的として事業を展開しているそうです。特に自然の温泉や名勝地がない狭山市では、観光協会の役割も観光地とは違っているようです。主な事業は入間川七夕まつりの開催や観光産業バスツアーの実施、観光パンフレットやテレビホン



「狭山市観光協会は、祭りやイベントを通して、心の通う地域社会づくりを応援しています。」と事務局長。

カード、観光カレンダーなどの作成だそうです。さらに、今年は狭山市制施行45周年で、8月4日(水)にはこれを記念する大きなイベントの一つとして、「大相撲狭山場所」を智光山公園の市民総合体育館で開催することでした。十両以上の力士が勢ぞろいし、テレビなどでは見られないユーモラスな取り組みの、しよつきり」なども観覧できるそうです。皆さんもぜひ目に行ってみてはいかがでしょうか。

絵を描いている子どもが減ったり、飾りが少し寂しくなったような気がします。これは少子化や高齢化が原因ではないかとのことでしたが、長い歴史と伝統のあるこの七夕まつりを、商店だけでなく、行政や市民が連携して盛り上げられたらよいと思いました。

今回、事務局長さんとお話をしていたら、子どものように、七夕まつりが待ち遠しく感じられました。

観光協会では、祭りは郷土への愛着心や地域での良好な人間関係を築いたり、児童の健全育成にも大切な催しと考えているそうです。これからも祭りを通して、お互いに協力したり、助け合ったりできる地域社会づくりをめざして活動を続けていきたいとのことでした。

観光協会では会員を募集していますので、お祭りが好きなたは入会してみてもいかがでしょうか。